

# 古川なおき 第111号 レポート



自由民主党横浜市議員 古川なおきの政務調査報告

一月刊 2012年7月2日

## 日本の宇宙開発

皆様お元気ですか！

先日の金環日蝕はどこでご覧になりましたか？私は朝の二俣川駅でレポートを配布しながら見ていました（笑）。お天気が曇りで心配していましたが、奇跡的に見ることができました。通勤や通学時間等でよくご覧になれなかった方は、旭区のホームページで確認できますので、旭区からどのように金環日蝕が見えたのか、是非確認してみてください。

### ○「はやぶさ」に感動！

さて、2010年頃から宇宙を取り巻く話題が豊富になってきました。宇宙航空研究開発機構の施設がある相模原市は、小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還した6月13日を「はやぶさの日」として日本記念日協会に認定されたようです。「はやぶさ」は月以外の天体に着陸し、そのサンプルを地球に持ち帰った世界初の探査機です。壊れても壊れても復活し、満身創痍で帰還した「はやぶさ」は、世界中の人々に感動を与えました。

### ○「きぼう」そして「こうのとり」へと進むプロジェクト

我が国の宇宙開発は事業仕分の対象となった苦い出来事がありますが、アメリカやロシアに比べ、少ない予算で大きな功績を残していると思います。現在は、他の国と共同で地上400km上空に国際宇宙ステーション（ISS）を建設し、日本初となる有人実験施設「きぼう」の中で様々な研究が行われています。地元横浜市出身の古川聡宇宙飛行士（私と同じ苗字で光栄です）は、昨年ISSに長期滞在し、さまざまな実験を行うと共に、宇宙と横浜の子どもたちとを通信で結んでいただき、横浜市の子どもたちや宇宙科学の教育に大変ご貢献いただきました。今年の7月21日には、ISSへ宇宙飛行士の食料や生活用品、実験装置などを運ぶため「宇宙ステーション補給機（こうのとり3号機）」がH-II/B ロケットで種子島宇宙センターから打ち上げられます。また、古川宇宙飛行士の次の長期滞在クルーとして、星出宇宙飛行士がソユーズ宇宙船に乗り、ISSへ向かい、ドッキングした「こうのとり3号機」を活用し、実験活動を行います（打ち上げは7月15日の予定）。

### ○宇宙に近づいていく

先日、宇宙開発の関係者の方とお話をさせていただく機会がありました。宇宙に行くことはまだまだ大変なことですが、宇宙に行くのではなく、「宇宙に行って何をするかを考える時代」になっています。宇宙での実験や研究活動を通じて、将来、宇宙で暮らすことのみならず、現在私たちが使う様々な日用品や医療などに活かされていくことを願っています。

国では、宇宙基本法に基づき、宇宙開発を推進していますが、有人宇宙活動では長い歴史のあるアメリカやロシアはもとより、昨今では中国も新たに有人宇宙船をドッキングさせるなど、新興国の台頭も目覚ましいものがあります。古川元久宇宙開発担当大臣（また苗字が同じですね）は「日本人による有人火星探査という大きな目標を立ててはどうか」と発言されていますが、日本の宇宙開発には具体的な有人宇宙船計画も長期ビジョンもありません。宇宙開発には予算がかかり、予算がないから大きなビジョンも掲げられないのかもしれませんが、民間のベンチャー企業を大胆に活用し、開発費用を抑えているアメリカの事例も参考にすべきだと思います。宇宙開発で培われた技術が、私たちの生活に恩恵をもたらすことも多く（例：人工衛星の技術向上により気象予測の精度が上がる等）、早急に日本独自の有人宇宙船を、官民上げて開発すべきだと思います。そして、宇宙開発は未来への投資であり、人類の夢であり、子どもたちの希望です。年齢を問わず、夢や希望を持つ心の豊かさを育みたいものです。

宇宙について考えていると生命の起源や生物の歴史などを考え、小さなことに悩んでいる自分がバカバカしくなることもあります。命懸けで訓練する宇宙飛行士さんの努力を思うとやる気とチャレンジ精神が湧いてきます。今の日本は、様々な課題もありますが、時代の閉塞感を破るには、空想ではなく、現実として宇宙を考え、自分の発想や行動に活かすことも必要かもしれないと思います。皆様のご意見をお待ちしています。

横浜市議員 古川なおき

※参考：「日本の宇宙探検」（JAXA 宇宙航空研究開発機構 500円）  
全国民が1年間に500円出せば、10年後には毎年1機、宇宙船を打ち上げられる、との思いを込めて500円にしたそうです

古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了  
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書  
平成7年4月 横浜市議員初当選（26才最年少）  
現在 平成24年 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会副委員長  
新市庁舎に関する調査特別委員会  
自民党横浜市議員団所属/横浜市会 F C キャプテン  
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事  
旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問  
旭区卓球協会顧問

みんなで健康増進！& 市政について気軽に語り合いませんか？  
政務調査活動の一環として「市民の皆様のご意見を」「直接うかがう」



### 朝ウォーキング

日時：8月18日（土）7時～8時半

集合場所：こども自然公園（大池公園）正面入り口

★参加される方は、当日直接、集合場所にお集まりください。雨天中止です。



### 国別ロケット打ち上げ数

	成功	総数	成功率
ロシア・ウクライナ(ソ連)	2,762	2,962	93.2%
アメリカ	1,313	1,482	88.6%
フランス	9	12	75.0%
日本	76	88	86.4%
中国	149	164	90.9%
イギリス	1	2	50.0%
欧州宇宙機構	195	210	92.2%
インド	25	35	71.4%
イスラエル	6	8	75.0%
多国籍企業	193	202	95.5%
イラン	2	2	100%
ブラジル	0	2	0.0%
韓国	0	2	0.0%
合計	4,731	5,171	91.5%

### 日本人宇宙飛行士のあゆみ

1992年9月 毛利衛宇宙飛行士  
日本人初の宇宙飛行士として、スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗。日本初の宇宙科学ミッション「ふわつと92」を実施。

1994年7月 向井千秋宇宙飛行士  
日本人女性初の宇宙飛行士としてスペースシャトル「コロンビア号」に搭乗し、微小重力科学・ライフサイエンス・宇宙医学の宇宙実験を実施。

1996年1月 若田光一宇宙飛行士  
日本人初のミッションスペシャリストとしてスペースシャトル「エンデバー号」に搭乗。ロボットアームを操作し、人工衛星の放出・回収を実施。

1997年11月 土井隆雄宇宙飛行士  
スペースシャトル「コロンビア号」に搭乗し、日本人初となる船外活動を実施。

1998年10月 向井千秋宇宙飛行士  
スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、日本人として初めての2回目の宇宙飛行を実施。

2000年2月 毛利衛宇宙飛行士  
スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗し、地球の立体地図作製のための地表データを取得。

2000年10月 若田光一宇宙飛行士  
スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、日本人初となる「国際宇宙ステーション (ISS)」の組み立てに参加。

2005年7月 野口聡一宇宙飛行士  
スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、「国際宇宙ステーション (ISS)」の組み立てに参加。計3回の船外活動を実施。

2008年3月 土井隆雄宇宙飛行士  
スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗し、「きぼう」日本実験棟の船内保管室の運搬を実施。

2008年6月 星出彰彦宇宙飛行士  
スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、「きぼう」日本実験棟の船内実験室の運搬を実施。

2009年3月 若田光一宇宙飛行士  
スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、「国際宇宙ステーション (ISS)」にて日本人初となる長期滞在が実現。

2009年7月 若田光一宇宙飛行士  
スペースシャトル「エンデバー号」にて輸送された「きぼう」日本実験棟の船外実験プラットフォームを設置し、「きぼう」が完成。

2009年12月 野口聡一宇宙飛行士  
「ソユーズ宇宙船」に搭乗し、「国際宇宙ステーション (ISS)」の長期滞在を実施。

2010年4月 山崎直子宇宙飛行士  
スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、野口宇宙飛行士とともに初の日本人2名同時宇宙飛行を実現。

2011年6月 古川聡宇宙飛行士  
「ソユーズ宇宙船」に搭乗し、「国際宇宙ステーション (ISS)」に長期滞在を実施。

こうのとりの3号機の打ち上げ成功を応援しよう!



#### ☆こうのとりの役割について

宇宙ステーション補給機「こうのとりのり」(HTV)は、無人の宇宙船で、食糧や衣類、各種実験装置など最大6トンの補給物資を地上約400キロメートル上空の軌道にある国際宇宙ステーションに送り届け、補給が済むと用途を終えた実験機器や使用後の衣類などを積み込み、大気圏に再突入して燃やします。

「こうのとりのり」は打ち上げ毎に改良が行われ、3号機では、国内の先端技術を採用した国産の推進系や通信装置に変更しています。

#### ☆飛行計画

HTV3ミッション飛行計画(2012年6月1日現在)

項目	計画
HTVフライト名称	「こうのとりのり」3号機(第3回目のHTVフライト:HTV3)
打上げ日時	日本時間2012年7月21日午前11時18分(予定)
打上げ場所	種子島宇宙センター 大型ロケット発射場第2射点(LP-2)
ISSとの結合日(予定)	2012年7月27日
ISSからの離脱日(予定)	2012年8月28日
大気圏への再突入日(予定)	2012年8月29日
軌道高度	投入高度:200km×300km(楕円軌道) ランデブ高度:約400km

※参考: JAXA ホームページ、「日本の宇宙探検」



お気軽にご連絡ください。

FAX:045-366-9700 / TEL:391-4000

E-Mail: naoki@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています!

#### 古川なおき政務調査事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1

TEL045-391-4000 / FAX045-366-9700

E-mail naoki@furukawa2002.com

